

## 審査結果概要書

平成 25 年 2 月 20 日  
 審査機関名 株式会社 J A C O C D M

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	工場における高効率照明器具の更新による CO2 排出削減プロジェクト
排出削減事業者名	株式会社フェリシモ
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：株式会社ブライトン)
事業実施場所	株式会社フェリシモ エスパスフェリシモ 神戸市須磨区弥栄台 2 - 7
事業の概要	本事業は、物流施設内に設置している蛍光管を、高効率照明器具に更新する事により、使用エネルギー量と二酸化炭素排出量の削減を図るものである。
排出削減量の計画	<p>【限界電源炭素排出係数の場合】</p> <p>2011 年度：67t-CO2/年</p> <p>2012 年度：108t-CO2/年</p> <p>(事業実施期間合計 175t-CO2/年)</p> <p>【全電源炭素排出係数の場合 (参考値)】</p> <p>2011 年度：53t-CO2/年</p> <p>2012 年度：90t-CO2/年</p> <p>(事業実施期間合計 143t-CO2)</p>
国内クレジット 認証期間	開始日 2011 年 9 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 006 照明設備の更新

## 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

## 3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイト訪問により確認している。</p> <p>排出削減事業実施場所： 株式会社フェリシモ エスパスフェリシモ 神戸市須磨区弥栄台 2-7</p> <p>事業サイトの視察日付：2013年1月19日</p>
追加性を有すること	<p>1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、省エネ及びCO2排出量の削減を目的として実施されていることを、削減事業実施者である株式会社フェリシモ 担当者への質問等により確認している。</p> <p>2) 本事業では、既存の照明設備を、高効率のLED照明に更新することにより、使用ランプの低減を図り、使用エネルギー量の削減を図るものである。</p> <p>更新前の照明設備は1998年8月に設置されている。したがって、法定耐用年数15年の2倍を超えておらず、引き続き使用可能であったことを確認している。</p> <p>3) 排出削減事業の投資回収年数については、根拠資料、質問および検算により4.1年であることを確認している。尚、補助金を受給していないことを確認している。</p> <p>4) 排出削減事業者は、水銀灯のLEDへの更新など、従来より環境への取組みを継続している。</p> <p>本事業では、照明設備を、高効率のLED照明器具を使用することにより、ボイラーを更新することにより、省エネルギー及びCO2排出削減を目的としていることを、現地視察、質問等により確認している。</p> <p>以上、本排出削減事業は、追加性を有すると判断できる。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画への参加の有無について、訪問時のヒアリングにより、事業者が業界団体に所属しておらず、自主行動計画に参加していない事を確認している。</p>

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 方法論 006「照明設備の更新」に基づき適用条件を満たしていることを確認している。</p> <p>適用条件1については、既存銅鉄型安定器、FTR 管球から直管タイプのLEDに更新されていることを現地審査にて確認している。</p> <p>適用条件2については、更新前の照明設備が未だ使用可能であったことを関係者への質問、視察により確認している。</p> <p>適用条件3については、事業実施前後のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量（照明設備点灯時間）を把握できることを確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量の計算方法、モニタリングの方法等が適切である事を、事業者への質問と関連資料の閲覧により確認している。</p> <p>3) 本排出削減事業によるリーケージについては、該当する事項が存在しないことを確認している。</p>
----------------------------	---

4. 特記事項  
特になし

以上